

盛岡市ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップ

近年、局地的な大雨や大規模な地震の発生などにより、ため池の被害が各地で発生しています。東日本大震災の際には、福島県の農業用ダム(藤沼湖)が決壊し、死者・行方不明者8名、家屋全壊22戸等の甚大な被害をもたらしています。また、平成30年7月豪雨により、西日本で32箇所のため池が決壊し、下流の住民へ大きな被害が及んでいます。このハザードマップは、ため池が決壊した場合に想定される浸水区域を予測し地図化しており、皆さんが安全に避難するために必要な情報が記載されています。



決壊直後の藤沼湖



濁流が襲った藤沼湖下流の集落

ため池ハザードマップの見方

「ため池ハザードマップ」は、ため池の位置、浸水想定区域、避難所等を記載しています。

- マップ上の着色部分が浸水想定区域を表しています。
- 浸水想定区域は、右表のとおり浸水深別に色分けしています。
- 洪水到達予想時間を区分け線で示しています。
- 避難所等及び周辺の施設を表示しています。
- あらかじめ避難する場所を決めておくことが重要です。
- 避難先は、避難所等(※)だけではなく、安全な場所にある親戚、知人宅に避難することも考えてみましょう。

浸水深の目安	
浸水深	浸水の目安
0.5m未満	大人の膝までつかる
0.5～2.0m未満	1階の軒下まで浸水する
2.0m以上	2階の軒下以上が浸水する

※ 避難所等には、次の2種類の施設があります。

- ①指定避難所:災害発生などにより自宅に戻れない人が一定期間生活する「施設」のこと。
- ②指定緊急避難場所:災害の危険から逃れるための災害の種類ごとの避難場所のこと。

ため池ハザードマップのシミュレーション条件

「ため池ハザードマップ」は、以下の条件によりシミュレーションしています。

- ため池が満水の状態で、地震または大雨により瞬時(一気)に決壊する。
- ため池の周辺に大雨が降り、河川・水路等の水位が上昇している。

想定を上回る気象条件下では、浸水区域が拡大する可能性がありますので、必ずしもこのハザードマップのとおりになるとは限りません。

避難の目安

ため池が決壊することを事前に予測することは非常に困難です。いざという場合に備えて、日頃から非常時の準備をし、避難情報が発令された場合には速やかに避難してください。

〈避難の目安〉

強い地震や大雨により、ため池堤体が決壊するおそれがある場合、または、市から避難情報が発令された場合。(テレビやラジオ、緊急速報メール等により伝達されます。)

避難の注意点

- 避難する場合は、ため池ハザードマップや盛岡市防災マップ等を参考に浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を避けながら迅速に避難してください。
- 大雨時にはテレビやラジオ等の気象情報及び避難情報等に注意し、早い段階での避難を心掛けてください。
- 逃げ遅れた場合は、自宅の2階など、できるだけ高い所へ避難してください。

日頃からの管理の徹底

ため池の老朽化や維持管理の不備が、突発的な事故の引き金となります。日頃から適正な管理に努めましょう。

- ため池堤体の草刈り、洪水吐の清掃の徹底など。
- 大雨や長雨が予想される場合は、低水位管理とするなどの工夫。

盛岡市 農林部農政課 農村整備係 電話 019-613-8459